

科目名		職業関連技術学演習			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年		必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

障害者の就労支援における役割を明確にし、他職種と連携しながら適切な就労支援を実践するための基礎的な知識、技術を習得する。

〔授業全体の内容の概要〕

人が働く意味やリハビリテーションにおける就労の重要性、関連用語、法規、制度、実践事例などを就労関連機関講師やサービスを利用して
いる障害者から学ぶ。また、グループワークも多く導入し、ディスカッションを通して理解を深めるとともに連携や協業の重要性を体感する。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

- ・障害者の就労の現状を理解し、その中での作業療法士の役割を明確にできる。
- ・就労支援関連理論、法規、制度、具体的支援法を明確にできる。
- ・事例を通して必要なサービスの具体的なコーディネート案を作成することができる。

回数	講義内容
1	職業関連技術学演習概論「働く」意味「障害を持って働く」意味
2	職業関連活動における作業療法
3	障害者総合支援法生活保護・障害年金
4	事例
5	雇用関連法規(障害者雇用促進法)雇用関連制度
6	事例
7	事例演習①
8	事例演習②
9	各種サービス、制度の実際について調べる、まとめる
10	各種サービス、制度の実際について調べる、まとめる
11	事例演習発表
12	事例演習発表
13	事例演習を行った上での作業療法士の職業関連活動での役割の実際①
14	事例演習を行った上での作業療法士の職業関連活動での役割の実際②
15	まとめ「働く」意味、障害を持つ人にとって「働く」とは
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

【 参考テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
作業療法学全書 改訂3版 作業療法技術学 職業関連活動	平賀、岩瀬 編	協同医書

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

筆記試験。到達目標を6割以上満たしている。